

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（表面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2020年 6月12日

鹿児島県知事 三反園 訓 殿

報告者

住 所 志布志市志布志町安楽251番地

氏 名 カイコー(株) 志布志生コンクリート事業所

所長 川間 一幸

電話番号 099-472-1431

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2019年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	カイコー(株) 志布志生コンクリート事業所
事業場の所在地	志布志市志布志町安楽251番地
事業の種類	大分類：E 製造業 小分類：2122 生コンクリート製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2019年4月1日から2020年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1000 t	全処理委託量	1000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

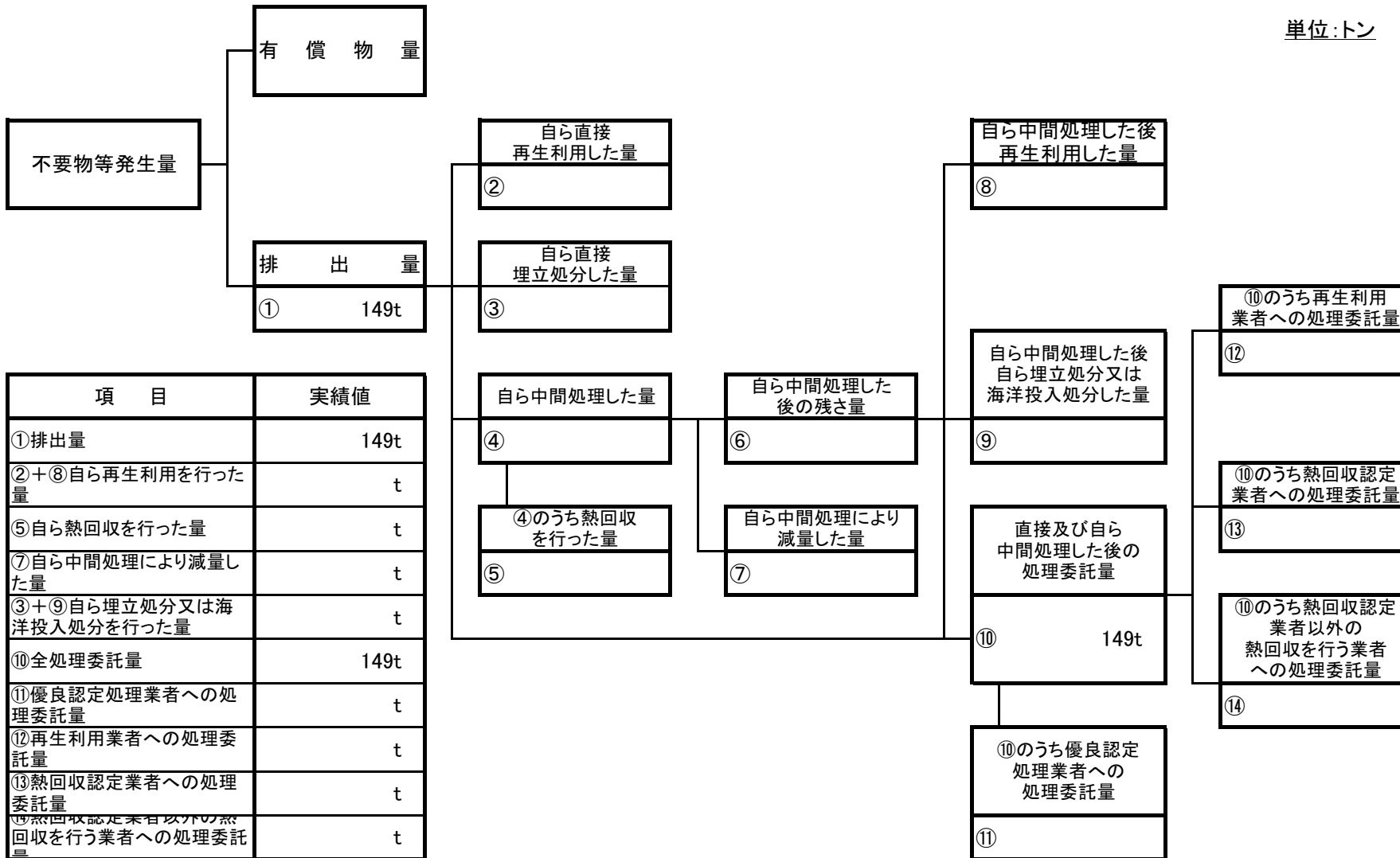
※事務処理欄

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら )

単位:トン

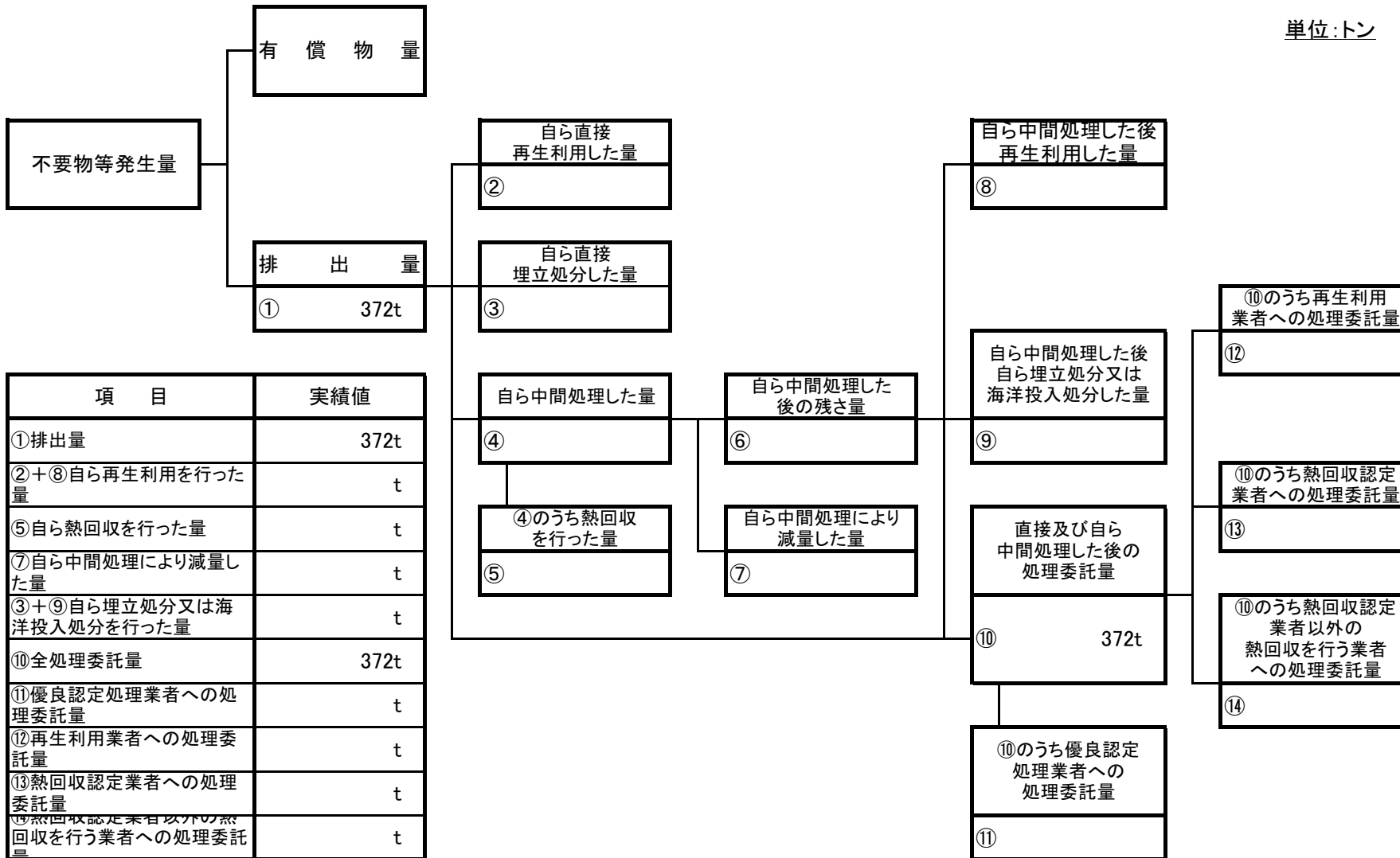


項目	実績値
①排出量	149t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	149t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥(スラッジ) )

単位:トン



産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画実施状況報告書内訳書 (廃棄物の種類が2つ以上ある場合この表を使用してください。)  
数字 (t)

①	排出量	372	149										合計
②	自ら直接再生利用した量	0	0										0
③	自ら直接埋立処分した量	0	0										0
④	自ら中間処理した量	0	0										0
⑤	④のうち熱回収を行った量(内訳)	0	0										0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量	0	0										0
⑦	④-⑥自ら中間処理により減量した量	0	0										0
⑧	自ら中間処理後再生利用した量	0	0										0
⑨	自ら中間処理後、自ら埋立処分した量	0	0										0
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	372	149										521
⑪	⑩のうち、優良認定処理業者への処理委託量	0	0										0
⑫	⑩のうち、再生利用者への処理委託量	0	0										0
⑬	⑩のうち、熱回収認定処理業者への処理委託量	0	0										0
⑭	⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	0										0
参考1	⑩のうち、焼却施設への処理委託量(⑩の内訳)	0	0										0
参考2	⑩のうち、焼却以外の中間処理施設への処理委託量(⑩の内訳)	0	0										0
参考3	⑩のうち、埋立処分業者への処理委託量(⑩の内訳)	0	0										0

※ガラコン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラコンで記入してください)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

◆参考1～3は、どのような業者に委託されているかを聞くものです。(⑩処理業者への委託量=参考1+参考2+参考3)

◆㎡は、トンに換算し記入してください (換算係数は、ホームページ中の「換算係数」を参考にしてください。)

別紙	
数字 (t)	
項目	実施値
①排出量	521
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩全処理委託量	521
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生処理業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0
熱回収認定処理業者以外の熱回収業者への処理委託量	0

自動計算 データーの場合  
合入力不要